



一般会計の市債 (市の借金) の状況

3月31日現在、一般会計で543億2,461万円の借金があります。費目別では、学校建設などのために借りた教育債が122億8,560万円で全体の22.6%を占めています。

特別会計 財産区特別会計

市には、国民健康保険事業など12の特別会計と2つの財産区特別会計があります。

それぞれの収入・支出の状況は下の表のとおりです。12の会計の収入済額は207億3,706万円で、予算額に対し83.5%の収入となっています。支出済額は209億8,320万円で、予算額に対し84.5%の執行となっています。

また、特別会計の借入金残高は209億4,329万円となっています。

一時借入金

一時借入金とは、支払いのための現金不足を補うために借り入れる資金で、同じ会計年度中に返済されるお金です。3月31日現在で一時借入金は右記のとおりです。

- 国民健康保険事業特別会計 5億円
- 農業集落排水事業特別会計 3億8,900万円
- 公共下水道事業特別会計 7,600万円
- *一時借入金があった会計のみ計上

特別会計 歳入歳出の状況

会計名	予算額 A	歳入		歳出		
		収入済額 B	B/A%	支出済額 C	C/A%	
特別会計	国民健康保険事業	95億4,645万円	84億5,004万円	88.5%	86億2,328万円	90.3%
	簡易水道事業	9億3,068万円	6億2,023万円	66.6%	7億2,762万円	78.2%
	住宅新築資金等貸付	1億9,813万円	9,103万円	45.9%	1億9,566万円	98.8%
	駐車場事業	5,524万円	5,186万円	93.9%	3,053万円	55.3%
	老人保健事業	9億6,933万円	9億3,778万円	96.7%	9億3,859万円	96.8%
	介護保険事業	73億7,572万円	66億5,612万円	90.2%	63億5,002万円	86.1%
	農業集落排水事業	23億1,156万円	13億6,960万円	59.2%	13億8,066万円	59.7%
	公共下水道事業	17億2,790万円	12億1,660万円	70.4%	11億2,968万円	65.4%
	浄化槽事業	3,876万円	2,299万円	59.3%	2,400万円	61.9%
	サービスエリア事業	2,633万円	2,567万円	97.5%	910万円	34.6%
	市街地再開発事業	6億9,840万円	5億389万円	72.1%	8億1,699万円	117.0%
	後期高齢者医療事業	9億845万円	7億4,766万円	82.3%	7億4,619万円	82.1%
財産区	島ヶ原財産区	3,156万円	3,498万円	110.8%	541万円	17.1%
	大山田財産区	928万円	861万円	92.8%	547万円	58.9%
計	248億2,779万円	207億3,706万円	83.5%	209億8,320万円	84.5%	

◀ B/AとC/Aの割合は円単位で算出した数値を記載

特別会計 市債の状況

会計名	残高	内訳	
		借入先	残高
国民健康保険事業 (直営診療所)	3,500万円	財務省	2,770万円
		銀行・共済組合など	730万円
簡易水道事業	42億253万円	財務省	31億7,485万円
		公営企業金融機構	10億2,768万円
住宅新築資金等貸付	3億4,762万円	日本郵政公社	3億4,762万円
介護保険事業	247万円	銀行・共済組合など	247万円
農業集落排水事業	82億9,490万円	財務省	50億8,180万円
		日本郵政公社	2,148万円
		公営企業金融機構	31億7,662万円
		銀行・共済組合など	1,500万円
公共下水道事業	78億9,287万円	財務省	47億3,359万円
		日本郵政公社	2,319万円
		公営企業金融機構	31億2,939万円
		銀行・共済組合など	670万円
浄化槽事業	8,210万円	財務省	8,210万円
市街地再開発事業	8,580万円	銀行・共済組合など	8,580万円
計	209億4,329万円	計	209億4,329万円

基金

基金とは、家計に例えると貯金のようなものです。

3月31日現在、基金の総額は、126億4,239万円で、そのうち土地は16,430.61㎡です。

※主なものは次のとおりです。財政調整基金

- 伊賀市振興基金 26億3,444万円
- 公共施設等整備基金 20億1,949万円
- 芭蕉翁顕彰事業基金 7億4,935万円
- 7億2,626万円

【問い合わせ】

本庁財政課 ☎ 22-9608